

令和6年第4回定例会議案説明資料

(一般議案)

- 1 議案第133号 指定管理者の指定について（千葉市美術館ほか1施設） … P 2

【議案第133号】

指定管理者の指定について（千葉市美術館ほか1施設）

議案書 P54

1 施設の名称及び所在地

名 称	所 在 地
千葉市美術館	中央区中央3丁目10番8号
千葉市民ギャラリー・いなげ	稲毛区稲毛1丁目8番35号

※上記施設を一括して管理する。

2 指定管理者の名称等

- (1) 名 称 公益財団法人 千葉市教育振興財団
- (2) 所在地 中央区弁天3丁目7番7号
- (3) 代表者 理事長 飯田 正夫

3 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

4 選定経過

- 令和6年8月7日 選定要項等の交付
- 令和6年8月30日 指定申請書受付
- 令和6年10月7日 市民局指定管理者選定評価委員会（第3回市民・文化部会）開催
- 令和6年10月28日 市民局指定管理者選定評価委員会の答申を受理
- 令和6年11月1日 指定管理予定候補者の選定、選定結果の通知
- 令和6年11月11日 指定管理予定候補者と仮協定を締結

5 非公募とした理由

(1) 千葉市美術館

美術振興の核となる当該施設において、展覧会の開催や美術品収集など事業実施にあたっては、十分な研究成果や豊富な経験に裏付けされた専門的知見を有する職員が継続的に携わることが必要であり、市民サービスの充実や質的な向上を図るために、同一団体が施設の管理を継続して担うほうが、合理的かつ効率的であるため。

(2) 千葉市民ギャラリー・いなげ

地域アートの拠点として、展覧会の企画や講習会の実施等にあたっては、企画立案や美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）の管理に係る経験等も必要となるため。

6 選定理由

指定申請の内容を「市民の平等な利用の確保」、「施設の管理を安定して行う能力」、「施設の適正な管理」、「施設の効用を最大限発揮」及び「維持管理経費の縮減」の5項目の視点から、指定管理者選定評価委員会の答申を踏まえて評価した結果、公益財団法人千葉市教育振興財団は、千葉市美術館及び千葉市民ギャラリー・いなげの管理を適切かつ確実にを行うことができるものと認められるため。

7 指定管理者選定評価委員会の答申の概要及び審査結果

(1) 指定管理予定候補者とすべき者

公益財団法人 千葉市教育振興財団

(2) 指定管理予定候補者の選定理由

「6 選定理由」のとおり

8 市民局指定管理者選定評価委員会（市民・文化部会）委員構成

氏名	役職	備考
田部井 宏明	弁護士	部会長
日野 勝吾	淑徳大学副学長	副部会長
朝香 桂子	千葉市文化連盟副会長	
霞 晴久	公認会計士	
八木 直人	敬愛大学経済学部教授	

9 指定管理者の概要

- (1) 設立時期 平成7年4月
- (2) 基本財産 2億1,500万円
- (3) 従業員数 391人(令和6年8月現在)
- (4) 主な事業内容
 - ア 市民の学習ニーズに対応した講座の開催等、生涯学習の振興を図るための事業
 - イ 美術展覧会の開催等、市民文化の発展に寄与する事業
 - ウ 埋蔵文化財の保護及び普及啓発等、郷土意識の醸成を図るための事業
- (5) 当該施設の管理実績
 - 別紙1のとおり
- (6) 指定管理者総合評価シート
 - 別紙2のとおり
- (7) 主な施設管理の実績
 - ア 千葉市美術館
 - イ 千葉市民ギャラリー・いなげ
 - ウ 千葉市生涯学習センター
 - エ 千葉市公民館(47館)

公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市美術館の管理実績(令和2年度～令和5年度)

年度	展覧会入場者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和2年度	150,063人	①美術館のホームページに喫煙・禁煙の案内がない。 ホームページでの案内はできないものか。	①館は令和2年4月1日より敷地内全面禁煙を実施しており、意見をいただいてすぐホームページでも敷地内全面禁煙の表示を行った。	本年度は7月のリニューアルオープンより年度を通してコロナ禍での運営となってしまう、様々な利用制限及びイベント、サークル活動等が中止となった影響で施設稼働率においては、数値目標及び前年度を大きく下回ってしまった。 そんな中展覧会においては、展覧会内容の変更はあったものの、概ね数値目標を達成し、特に企画展「田中一村」展は大変好評で、目標を大きく上回る29,415人の入場者があった。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として入館時の手指消毒、検温、マスク着用の徹底及びアクリル板の設置、千葉市新型コロナウイルス追跡サービス利用の促進などを行うとともに、混雑時必要に応じて入場制限を行うなど徹底したコロナ対策を行ったうえで通年開館を実施した。	【評価】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。 【所見】 新型コロナウイルスによる影響を受けながらも展覧会では企画展・常設展あわせて6本が数値目標を大幅に上回っており、これまでの経験と実績を存分に活かした、リニューアルに相応しい結果となったことは評価できる。新たに拡充された体験・交流ゾーンでも利用制限等に柔軟に対応しながら親子連れを中心とした新しい企画を実施しており評価できる。一方でワークショップルームや市民アトリエなどの貸出諸室については稼働率が低いことから、より一層の宣伝・広報活動により更なる利用促進に努められたい。

公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市美術館の管理実績(令和2年度～令和5年度)

年度	展覧会入場者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和3年度	143,443人	<p>①目の不自由な方や子どもがさわって楽しめる企画をやってほしい。</p> <p>②順路が少しわかりづらかった</p>	<p>①視覚障害を持つ鑑賞者と健常者が共に展覧会を楽しむことをコンセプトとした美術鑑賞会を実施した。</p> <p>②作品の世界観を壊さず、利用者がより見学しやすいように、会場レイアウトやサインの設置を工夫した。</p>	<p>昨年度に引き続き、年度を通して新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら運営を実施した。様々な利用制限及びイベント、サークル活動等が中止となるなど影響が続いたものの、施設稼働率は昨年度に比べ微増となった。</p> <p>また、鑑賞教育プログラムを本年度に限り通年募集として状況に応じた受入れを実施した他、イベント・ワークショップやボランティア養成事業においてもオンラインを活用した活動を実施し、コロナ禍における事業運営の模索に一層努めた。</p> <p>展覧会においては、全体の入場者数の目標値は下回ったものの、つくりかけラボについては昨年度よりも入場者数が増加したほか、リピーター育成を目的としたスタンプカード事業を実施した結果、カード配付数の半分近くが再度来館しており、事業が徐々に浸透してきたと言える。</p> <p>スポンサーシップ寄附金事業においては想定の倍以上の寄附の申込みがあった。また、令和2年度の寄附金を財源として作品の光学的調査及び修復等を実施することができた。</p>	<p>【評価】概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>【所見】予定していた企画やイベントの中止、移動制限による利用者数の減少等、引き続き新型コロナウイルスによる影響を受けながらも、前年度に新たに拡充された体験・交流ゾーンにおいて数値目標を大幅に超える利用者数を確保したほか、鑑賞教育の実施校を通年募集とし、柔軟な事業運営を行ったことは評価できる。</p> <p>一方で、コロナ禍での事業実施の方法を模索し、イベント・ワークショップ等でオンラインを活用して参加者数増につなげたことは評価できるが、アフターコロナを見据え、展覧会やイベント等へ実際に足を運びたくなるような取組を検討し、特に展覧会の入場者数の増加につながるよう努められたい。</p> <p>そのほか、施設稼働率が改善傾向にあるものの、ワークショップルームや市民アトリエなどの貸出諸室の稼働率が低いことから、一層の宣伝・広報活動により更なる利用促進に努められたい。</p>

公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市美術館の管理実績(令和2年度～令和5年度)

年度	観覧会入場者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和4年度	126,412人	<p>①キャプションの文字のサイズが小さい</p> <p>②スマホを使ってアンケートに回答できるようにしてほしい</p>	<p>①観覧会の主な来客年齢層、観覧会と作品の分野(現代美術か古美術か、ケース内展示か額装の壁展示か、個別解説があるかどうかなど)によって、キャプションのサイズや文字フォント、デザインを変えた。平均して文字サイズを大きくできるように、大きいキャプションケースを順次制作購入し、従来より面積で3倍のサイズのものを中心として用いるようにした。また、解説の文字数を減らしたり、わかりやすい短いリード文やキャッチフレーズを別に添えるなど、内容の工夫も凝らした。</p> <p>②以下の3種の方法を検討、準備中である。(観覧会アンケート以外についてはホームページにすでにご意見欄があるのでスマホで回答できる。)</p> <p>(1)観覧会アンケートは来館者に回答してもらいたいため、現場での回答が紙だけでなくタブレットでもできるようにする。(2)来館者が後刻同じアンケートをゆっくりスマホや別の場所で記入して送信したい場合のために、来館者のみが回答できるフォームを用意し、現場でQRコードでアドレスを配布する。(3)より簡単な内容(住所・年齢など来館者の属性のみ)のアンケートをタブレットで多くの人が答えられるよう受付横に用意する。(コロナで取りやめていたのを復活)</p> <p>いずれもが可能になったのちも、紙のアンケートは、直筆で自由記述のため伝わることも多く、継続したい。</p>	<p>令和4年度も9本の企画展を開催、巡回展を含めいずれも千葉市美術館学芸員が主導して行った意欲的な自主企画展であった。全体経費に占める監視等人件費や電気代など固定費の割合が増大圧迫する中、自主企画ならではの工夫で、コスト削減しつつも、充実した内容を築けたことで、観覧者に与えた満足度が非常に高かった。中でも「新版画 進化系UKIYO-Eの美」は、千葉市美術館のコレクションによって仕立てられ全国を巡回した観覧会で、近年の新版画人気を作り出してきた当館の活動の集大成である。「亜欧堂田善展」も、調査研究・準備に5年近くかけた充実した内容で、知名度が高いとは言えない画家ながら、全国から1万人を超える来館者を集めて、千葉市美術館ならではの存在感も示せた。また、「とある美術館の夏休み」展のような多様性に目を向け美術館を問はず企画も行い一石を投じている。こうした地道な調査研究と自主企画の活動の成果として、常設展で毎月の時宜にふさわしいテーマ展や「新収蔵作品展」が開催でき、千葉市のコレクションの価値を高めた。その周知については、収蔵品管理システムとホームページの改修やデータの整備を行い、データベースの公開へこぎつけたことは大きな進展であった。体験・参加体験型としてリニューアル後拡充された「つくりかけラボ」などの事業は、定着してきており、若年層を中心に来場者も約3万人を超えるなど、参加者人数についても目標を上回った。</p> <p>貸出施設の利用者数・稼働率については、目標値には届かなかったものの、昨年度に比べ増加している。地道な広報活動等により、諸室の貸出事業が徐々に浸透してきたと言える。</p>	<p>【評価】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>【所見】 予定していた子どもアトリエを活用した「つくりかけラボ」では全て対面での事業を実施したり、外部からの依頼に対して、各学芸員の専門分野に応じて講師を派遣する事業を実施するなど、新型コロナウイルス前の施設運営に徐々に戻りつつある。また、講堂や市民アトリエなどの各貸出施設の利用者も令和3年度に比べて増加し、市民利用も回復してきていることがうかがえる。一方で、企画展と常設展の観覧者数は昨年度よりも少なくなったことにより、観覧料収入が大幅に減少した。観覧者数の増減が直接影響するミュージアムショップの売上もあわせて減少した。より集客の見込める展示内容の企画や、集客方法について改善が必要である。また、収支についても縮減ができた費目が多くある一方で展示に係る委託費などが計画時よりも大幅に増えたこともあり、企画展の開催にあたり経費を精査する必要がある。</p>

公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市美術館の管理実績(令和2年度～令和5年度)

年度	観覧会入場者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和5年度	174,832人	<p>①展示作品の撮影ができてよかった、もっと撮影できる作品を増やして欲しい。</p> <p>②ロビー等での話声が展示室に響く、展示室内での解説の声が気になりゆっくり見られない</p> <p>③浮世絵重ね捺しスタンプが楽しかった。</p>	<p>①展示室内での写真撮影を求める声が多くなっていることは認識しているものの、実施した際の意見は多様であり、企画展の分野・来館者の年齢層によっても評価は異なるほか、企画展の出品者所蔵者の意向もある。美術館としては、可能な限り希望に応えられるようにする一方、来館者同士のトラブルに発展することを防止するため、企画展ごとに対応を変えており、一部の作品や展示室を撮影可能とするなどの対応を行っている。</p> <p>②受付等の説明や案内が長くなりそうな際は、展示室のドアを半分閉める等で都度対応している。また、ボランティア等によるギャラリートークについては、来館者が多くなる企画展最終週は実施しないようにすることで、他の来場者との兼ね合いを図った。</p> <p>③実施時はアンケートでも好評。常設するには消耗品費が多くかかること、管理対応が必要なことから、効果的な時期と設置場所を絞って体験してもらえるように工夫している。</p>	<p>全体として、光熱費のほか人件費や資材等の物価高、円安や運賃高の影響が益々大きくなったが、自前の企画を行ってきたノウハウを生かし、事業の質と安全性を落とさぬよう工夫を重ねて推進した。その分広報費などを削減せざるをえなかったが、市との連携につとめ、企画展入場者数が確保できたこともあり、リニューアル後展開してきた新しい教育普及事業や、コレクションを活用した常設展などの事業が、定着してきたことの手応えを得た年となった。</p>	<p>【評価】概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>【所見】企画展事業においては、写真展・彫刻展・現代美術展・浮世絵展と当初計画どおりに事業を展開しており、来館者アンケートの結果から来館者の満足度も高いことがうかがえる。令和5年度は特に「三沢厚彦 ANIMALS」展にてターゲット層に合わせてSNSやデジタルサイネージを利用した広告にも力を入れた結果、夏休み中の子供達やその親世代達を中心に普段美術館になじみがなかった層の集客にもつながり、結果として目標来場者数に対し140%超の結果を残すことができたとともに、その相乗効果として、体験・参加型事業への参加者数も令和4年度から倍増した。令和2年度のリニューアル時に整備したこどもアトリエを活用した「つくりかけラボ」や、「みんなでつくるスタジオ」等の体験・参加型事業が浸透してきたものと考えられる。そういった成果が見られた一方で、目標数値に届かなかった展覧会もあり、展覧会入場者数は目標である20万人を下回った。</p> <p>加えて、全体的な赤字は依然解消されていない状態にあり、コロナ禍明けで呼び戻せた従来の60代以上中心の客層のみならず、令和5年度の企画展や体験・参加型事業で得た新たな若い世代の客層をリピーターとできるよう、引き続き広報手段や事業実施手法を工夫し、より多くの層を取り入れ収入の確保につなげられたい。</p>

**公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市民ギャラリー・いなげの管理実績
(令和2年度～令和5年度)**

年度	施設利用者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和 2 年度	12,676人	①別荘2階の雨漏りが気になる。	①千葉市に報告、協議を行った。	本年度は施設稼働率、利用者数とも目標値を下回った。旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事が完了し一般公開を行ったが全体的に伸びなかった。利用者及び来館者の約半数が60歳以上であるためコロナ禍の影響が大きかったと考えられる。事業については「千葉の芸術祭」に関連する企画が令和3年度に延期され講習会は6回中4回を中止したが、企画展は予定の6回を実施した。「いなげ八景水彩画コンクール」は4回目を迎え着実に定着し出品数も増加した。	【評価】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。 【所見】 市民ギャラリーの利用者は前年度に比べ下回ったものの、展示室の稼働率は100%が続いており、評価できる。旧神谷伝兵衛稲毛別荘については、アンケートでの満足度が高く観覧者数も増加していることから、努力していることがうかがえる。また展示事業や連携事業では、今後も幅広い世代の方が利用できるよう更なる工夫に努めていただきたい。

**公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市民ギャラリー・いなげの管理実績
(令和2年度～令和5年度)**

年度	施設利用者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和3年度	17,679人	①施設の周知を図ってほしい ②歴史的建造物(別荘)の保存を末永く行ってほしい	①紙媒体とネット媒体を活用して多角的に企画の案内、周知を図った。 ②保存のための修繕をきめ細かく行うとともに、別荘を含めた景観の維持管理に努めた。	企画展・講習会については「千の葉の芸術祭」に関連企画を通じての参加、千葉ゆかりの作家展として「濱田清の世界展」を中心に、概ね計画通りに実施できた。 別荘を含めた施設維持管理については建物・庭園共に適切な維持作業、修繕を行い、市民のニーズに対応した。新型コロナウイルス感染症の影響は昨年度より減少し、結果として施設利用団体数、来館者数、施設利用料金共に増加した。	【評価】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。 【所見】 オリンピックや稲毛あかり祭「夜灯(よとぼし)」など他のイベントと連動して開催する予定だった企画も含め、新型コロナウイルスにより中止・延期となった企画も多かった。そういった状況下でも、ギャラリー周辺の施設や商店街と連携し散策マップを作成したり、地域の小中学校の作品展を開催するなど可能な範囲で事業を実施した。別荘や庭園の手入れなども行き届いていることがアンケート結果から見て取れる。引き続き、良好な状態を維持されたい。

**公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市民ギャラリー・いなげの管理実績
(令和2年度～令和5年度)**

年度	施設利用者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和4年度	20,722人	<p>①知られていないと思うので、宣伝が必要だと思えます。もっと周知されてもよい貴重な施設だと思えます。</p> <p>②保護者が利用できる乳児用の設備を整えてほしい。</p>	<p>①従来の紙媒体での広報に加え、Webサイトをはじめ、ツイッター、フェイスブックの企業アカウントを運用し広報をデジタル化しての発信に努めた。それに加え、市内に47館ある公民館のデジタルサイネージに施設紹介動画を放映し、更なる広報に努めた。</p> <p>②身障者トイレ内におむつ交換台を設置した。</p>	<p>6本の展示事業を行い、来場者数も、特に人気展が1本あって好調だった昨年度にも近い水準にまで戻ってきた。近隣の公民館や学校との連携事業も積極的に行い、その関連の講座やイベントへの参加者数は、前年度実績を上回っている。特に、「いなげ八景水彩画コンクール」や「いなげ八景ツアー」、「いなげ八景を描く」連続企画など、稲毛地域への愛着を深め、地域文化・アート拠点としての役割を果たした。また神谷伝兵衛の紹介動画や、道案内用の動画など、自主制作した動画をユーチューブで配信するなど広報に努め、展示にも生かすことができた。</p>	<p>【評価】 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。</p> <p>【所見】 令和3年度に引き続き、建物・庭園内にも日常清掃が行き届いているという評価をいただいている。展示室や制作室の利用率が昨年度よりも伸びていることから、作品の制作、展示の場としての今後の利用増が期待できる。旧神谷伝兵衛稲毛別荘での撮影利用やメディア露出もあったが、施設職員の方で適正に対応いただいている。旧神谷伝兵衛稲毛別荘への入館者数が令和3年度に比べて減少しているため、継続して施設の魅力発信をし、多くの方が知るきっかけ作りに取り組まれない。</p>

**公益財団法人千葉市教育振興財団による千葉市民ギャラリー・いなげの管理実績
(令和2年度～令和5年度)**

年度	施設利用者数	利用者からの要望・意見	改善点等	指定管理者による自己評価	市による評価
令和5年度	15,861人	<p>①一般向けに存在を知らせるための広報・宣伝が必要だと思われる。</p> <p>②駐車場の外看板の掲示場所が高所で足場が悪く設営撤去に危険を感じている。</p>	<p>①広報のデジタル化を進め、幅広い世代に情報が届くよう各種SNSを活用している。デジタルサイネージを活用するため、施設と周辺地域を含めた紹介動画「いなげ八景～海辺の記憶をたどる」を作成し、コンテンツの充実に努めた。</p> <p>紙媒体では年間予定表を兼ねた「いなげ八景散策マップ」を作成し、観光案内施設、民間商業施設等に配布し、地域全体の活性化を図った。</p> <p>②擁壁修繕に合わせて外看板掲示場所に恒久的な踏み台と手すりを設置し、安全に設営撤去が出来るよう改修した。</p>	<p>市民が世代やジャンルを超えて美術や文化に親しみ、交流できる「場」を目指し、地域商店街や各教育機関との連携を踏まえた展覧会、講習会及びイベント等を企画・運営し、地域アート・文化の拠点としての事業を展開した。また、地域や各教育機関等と連携するとともに、ボランティア等の市民と協働し、当ギャラリーの円滑な運営に努めた。</p>	<p>【評価】 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。</p> <p>【所見】 ギャラリー棟の3か月間の休館がありながらも、展示室や制作室の稼働率は概ね計画どおりの達成率となっており、アンケート結果でも昨年度に引き続き建物・庭園内ともに日常清掃が行き届いているという評価をいただいている。また、休館期間を利用した施設の整備等、市民サービスに影響を与えないような施設管理を行っており、概ね市の基準どおりの運営がされているものと評価できる。</p> <p>一方で、旧神谷伝兵衛稲毛別荘については、利用者数が昨年度よりも大幅に減少している。アンケート結果でも施設の広報・宣伝が必要との意見もあることから、令和5年度に新たに開始したSNSでの広報のほか、「いなげ八景散策マップ」の配付先の工夫をするなど、施設の認知度向上をはかり、さらなる集客に努められたい。</p>

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 R2年4月1日～ R6年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	本市における美術振興の核となる施設として、博物館法（昭和26年法律第285号）に規定する美術館の役割・機能を着実に果たすとともに、文化面から千葉都心の集客を図り、市民サービスの向上に寄与する。	市民に身近な芸術活動の拠点として、幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場となるとともに、歴史的建造物の保存・活用を推進する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。 ・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 ・体験等を中心とした事業を実施し、美術に関する市民の創作活動等を支援すること。 	【市民に身近な芸術活動の拠点】 <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の展示・制作の場 ・美術作品の制作指導等の実施 ・歴史的建造物の管理及び公開等による活用
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、指定管理者が、市の求めるビジョン・ミッションや施設の特性を踏まえつつ、専門性や企画力などのノウハウを活用しながら、開館時間の延長、参加・体験型事業の充実、多言語化対応などの具体的な取組みを進めることにより、多くの市民が、各施設において、文化芸術を鑑賞、体験し、創造活動につなげることができるような環境が構築され、市民サービスが向上することを期待する。	
指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 （共同事業体の場合）		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

2 成果指標等の推移

(1) 千葉市美術館

ア 展覧会（常設展を含む）入場者数（成果指標1）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
実績値	150,063人	143,443人	126,412人	174,832人	594,750人
数値目標※	見直し前： 200,000人以上 見直し後： 156,000人以上	200,000人以上	200,000人以上	200,000人以上	756,000人以上
達成率	96.2%	71.7%	63.2%	87.4%	78.7%

イ 施設稼働率（成果指標2）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	平均
実績値	25.5%	26.4%	38.8%	42.5%	33.3%
数値目標※	48%以上	48%以上	48%以上	48%以上	48%以上
達成率	53.1%	55.0%	80.8%	88.5%	69.4%

ウ 体験・参加型事業の利用者数（成果指標3）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
実績値	19,428人	27,436人	19,070人	42,418人	108,352人
数値目標※	30,996人 (15,000人以上)	17,000人 (15,000人以上)	17,000人 (15,000人以上)	17,000人 (15,000人以上)	81,996人 (60,000人以上)
達成率	62.7% (129.5%)	161.4% (182.9%)	112.2% (127.1%)	249.5% (282.8%)	132.1% (180.6%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

※ 令和2年度における展覧会入場者数の数値は、令和2年度事業計画書において、拡張整備（リニューアル）による休館（R2.4～R2.7）を見込んだことから、数値目標の見直しを行っている。

（2）千葉市民ギャラリー・いなげ

ア 利用者数（市民ギャラリー・いなげ）（成果指標4）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
実績値	12,676人	17,679人	20,722人	15,861人	66,938人
数値目標※	34,000人以上	34,000人以上	34,000人以上	34,000人以上	136,000人以上
達成率	37.3%	52.0%	60.9%	46.6%	49.2%

イ 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）（成果指標5）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
実績値	5,805人	8,028人	7,289人	5,644人	26,766人
数値目標※	11,500人以上	11,500人以上	11,500人以上	11,500人以上	46,000人以上
達成率	50.5%	69.8%	63.4%	49.0%	58.2%

ウ 施設稼働率（成果指標6）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	平均
実績値	35.9%	44.5%	48.6%	49.9%	44.7%
数値目標※	55%以上	55%以上	55%以上	55%以上	55%以上
達成率	65.3%	80.9%	88.4%	90.7%	81.2%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（3）成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
※設定なし					

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	546,963	545,027	542,886	555,925	2,190,801
			計画	564,450	543,884	528,351	555,925	2,192,610
		利用料金	実績	41,617	48,654	41,678	63,260	195,209
			計画	75,843	90,604	87,631	85,911	339,989
	その他	実績	17,115	24,916	12,628	21,472	76,131	
		計画	31,028	31,124	25,655	25,955	113,762	
	合計	実績	605,695	618,597	597,192	640,657	2,462,141	
		計画	671,321	665,612	641,637	667,791	2,646,361	
	支出	実績	586,813	625,812	662,720	670,890	2,546,235	
		計画	671,321	665,612	641,637	667,791	2,646,361	
収支	実績	18,882	△ 7,215	△ 65,528	△ 30,233	△ 84,094		
自主事業	収入	実績	3,052	4,381	12,690	4,295	24,418	
		計画	3,632	6,074	6,285	5,459	21,450	
	支出	実績	2,444	4,250	12,794	3,901	23,389	
		計画	3,632	6,074	6,285	5,459	21,450	
収支	実績	608	131	△ 104	394	1,029		
総収入	実績	608,747	622,978	609,882	644,952	2,486,559		
総支出	実績	589,257	630,062	675,514	674,791	2,569,624		
総収支	実績	19,490	△ 7,084	△ 65,632	△ 29,839	△ 83,065		
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0		
利益還元の内容		—	—	—	—	—		

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	D	各年度の数値目標の達成率を総合的に判断し評価した。新型コロナウイルス感染症の影響等により、目標未達成となった項目が多かった。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	減額分については新型コロナウイルス感染症に伴う事業中止に伴うものであることから、また、増額分については光熱水費の高騰や選定時になかった美術作品のデジタル化事業を追加したことに伴うものであることから、選定時の提案額と同額として評価した。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	市民の平等利用の確保、関係法令等の遵守、リスク管理・緊急時対応において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	管理運営の執行体制や必要な専門職員の配置、従業員の能力向上において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(2) 施設の維持管理業務	C	施設の保守管理、設備・備品の管理・清掃・警備等において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	開館時間・休館日や利用料金設定・減免、利用促進の方策において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(2) 利用者サービスの充実	C	利用者への支援や利用者意見聴取・自己モニタリングにおいて、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
(3) 施設における事業の実施	C	施設の事業の効果的な実施や自主事業の効果的な実施において、概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	概ね提案時の内容どおりであり、管理運営の基準等の水準と同程度の評価とした。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<p>本指定期間においては、概ね計画通りの事業が実施できており、市が指定管理者に求める水準どおりの管理運営が行われていたものと考えられる。</p> <p>成果指標の達成状況については、美術館の主要な事業である展覧会事業をはじめ、成果指標となっているほとんどの項目について数値目標を下回る年度が続いたが、この点については美術館・市民ギャラリーいなが共に主要な客層である高齢者層をはじめ、新型コロナウイルス感染症による外出制限等の影響が大きかったものと考えられる。</p>
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

<p>美術館、市民ギャラリー・いながの両施設ともに、新型コロナウイルス感染症の影響があったことなど、成果指標としては未達成な項目が多い状況はあるものの、「体験・参加型事業」の指標では数値目標を上回る結果となり、市民ニーズや施設運営を取り巻く環境の変化がある中でも、指定期間内において指定管理者のノウハウ等を活かしながら着実に成果をあげている。</p> <p>今後、コロナ後の影響や利用者の高齢化に伴う人口構成の変化などの社会経済状況に柔軟に対応しつつ、市民サービスの提供を着実に実施するには、市民ニーズの変化をとらえつつ、若年層をはじめとする新たな客層の獲得に結び付くような大胆な取組の導入や、一層の質的な向上が求められるところである。そのためには、中長期的に専門性を十分に活かすことができる人員を確保・維持しながら、施設の老朽化に伴う維持管理や効率的な運営を続ける必要があることから、引き続き指定管理制度による運用を継続することが望ましいと考える。</p>

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

--